

**授業と授業をつなぐ学習問題事例（黄色の部分） 使い方：この学習問題を「宿題」として示し、子どもたちが考えてきたことを次の授業で交流させてみましょう。**

中学校社会科地理的分野課題例 第1部 世界のさまざまな地域 3章 世界の諸地域		2節 ヨーロッパ州				
単元を貫く課題(主題)	学習指導要領解説から<主題例>EUの発展と地域格差 “EU加盟国では、政治・経済的統合が人々の生活にどのような影響を与えているか” という問いを立て、ヨーロッパにおいてEU加盟国の人々が日常生活で自由に域内の国境を越えて買い物や仕事をしていること、多様な産業が地域で展開している様子、人々の移動、EU内の交通機関による結び付きなどを追究すると、EUを構成する国の相互関係や域内の地域間格差の実態が分かり、ヨーロッパの地域的特色の理解につながる。					
単元展開例（授業と家庭学習をつなぐ展開）						
<p>ア. わかりやすい学習問題の提示…何について、どのような面から（どのような立場から）考えるのか。          イ. 学習問題を考える目的の提示…何のためにこの学習問題について家庭で考えるのか。次の授業で何をするのか。          ウ. 学習問題の答えの評価方法の提示…この学習問題に取り組み、どのような力がつくのか。</p>						
本時の展開例	① 「1. ヨーロッパの自然 2. ヨーロッパの文化と歩み」		② 「3. ヨーロッパの産業」		③ 「4. 国境を自由にこえられる暮らし」	
	学習課題	民族や文化がさまざまであるヨーロッパの国々がEUとしてまとまったのはなぜだろう。		学習課題	EUが統合することで、良いことは何だろう。	
	発問1	ニースは札幌より北にあるのに2月の平均気温が高いのはなぜだろう。		発問1	民族や文化がさまざまであるヨーロッパの国々がEUとしてまとまったのはなぜだろう。	
	資料	NHK for School 10min ボックス「ヨーロッパ州」scene1「比較的温暖な気候」scene2「3000mを超える山々、平地を流れる河川」scene3「冷涼な北部」教科書 p. 59 本文 地図帳 p. 46 資料⑤気温		資料	教科書 p. 61 本文 NHK for School 10min ボックス「ヨーロッパ州」scene4「対立と戦争の歴史から」scene5「産業革命と二度の世界大戦」scene6「国家連合体の発足」	
	予想される答え	本文より 「大西洋や北海の沿岸地域は、暖流の北大西洋海流と偏西風の影響で、緯度の高い地域にあるわりには温暖です。」		予想される答え	ヨーロッパでは、対立や戦争が繰り返され、二度の大戦では大きな被害を受けた。そこで戦争を避け、また経済や政治などで力を増したアメリカ合衆国などの大国に対抗するために、互いに協力して発展していこうとしたから。	
	発問2	ヨーロッパ全体で共通する文化は何だろう。地域によって違いがある文化は何だろう。		発問2	なぜ各国で分担して飛行機を生産しているのだろう。	
資料	教科書 p. 60～61 資料①教会を中心とする町なみ、資料②ヨーロッパのキリスト教宗派の分布、資料③日曜日が休みの店の案内版、資料④ドイツの祝祭日、資料⑤ヨーロッパの言語の分布、資料⑥ヨーロッパの祭り		資料	教科書 p. 63 本文 教科書 p. 63 資料③ヨーロッパのおもな工業地域、資料⑤各国で分担して行う航空機の製造		
予想される答え	共通→キリスト教 違い→キリスト教の宗派の違い (カトリック、プロテスタント、正教会)、言語(ゲルマン、ラテン、スラブ)		予想される答え	本文より 「よりよい製品を安く作るために、製品の各部分の一つの国でつくらず、それぞれの得意分野を生かして、複数の国が分担してつくるため」		
授業と授業をつなぐ学習問題(次の授業までにやってくる学習問題)	民族や文化がさまざまであるヨーロッパの国々がEUとしてまとまったのはなぜか。		授業と授業をつなぐ学習問題(次の授業までにやってくる学習問題)	EUが統合することで、良いことは何だろう。		単元で学習したことを使って考える学習問題
						単元のまとめの課題として「EU統合の利点と課題をそれぞれ一つずつ書いてみよう」(ふりかえりシートに記入)